

財務委員会

委員長 板倉 雄一郎

1. 会計業務

全附P連事務局において（電子データのやり取りを含む）、定期的に通帳の残高のチェック、各勘定科目の元帳の確認、予算執行状況の確認を行い、理事会において、予算の執行状況及び留意事項を報告している。

今年度は全国の附属学校園に有益な情報を提供すべく多くの事業を手がけているため、特別活動費等の事業費が増加している。それらの項目については、特に慎重に確認を行った。

また、来年度の予算策定についても積極的に関与し、吟味した。

さらに、全国大会特別会計については、実行委員会のメンバーの努力により、予算内で充実した研修会の運営がなされている。

2. カンガルー保険

昨年度に引き続き、カンガルー保険を広く普及させるためのDVD及び資料を使って、啓発活動を継続した。全国大会を始め、各学校園での説明会や地区会で映像によるわかりやすい説明をすることができ、保険の必要性を広報することができた。カンガルー保険の加入も全員加入制度・任意加入制度共に順調に推移している。また、保険内容をさらに改善すべく保険会社との協議を継続して行っている。

3. 諸規定の見直し

全附P連の活動内容や社会環境に応じて、継続的に検討、見直しを行っている。

4. その他

上記以外の事業として、財務省との連携による財政教育プログラムの普及・推進と金融庁との連携による金融教育プログラムの開発、ファンドレイジング研修事業の企画・運営、奨学金に関する研究・発表等を行った。

以上、平成29年度の財務委員会の活動についての報告とする。